



おめでとう、200歳！
八代家住宅の魅力再発見！



このたび、かやぶんの事業が、文化庁「NPOによる文化財建造物活用モデル事業」に採択されました！

このモデル事業は、国の重要文化財・登録有形文化財などの建造物の文化財を対象として、NPO法人が行う、文化財建造物の活用モデルとなる事業を実施するというものです。かやぶんでは、国指定重要文化財「八代家住宅」において、「おめでとう、200歳！八代家住宅の魅力再発見！」という事業を実施することになりました。

文化5年(1808年)の棟札が残る八代家住宅は、今年でちょうど築200周年。それを記念して、八代家住宅の様々な魅力を体験できるイベントを3回開催します。

今回の事業では、イベント開催だけでなく、それを一緒に企画・運営してくれるボランティアスタッフ「八代家住宅サポーターズ」を募集します。イベント作りに興味がある方、文化財の活用に興味がある方、とにかくおもしろいことをやってみたい方など、ぜひ、かやぶん(25-2019)までご連絡ください！3回のイベント+山梨県内の他の文化財建造物と連携したスタンプラリーも実施します。

イベント情報や報告など、今後もかわら版でお伝えしていきますので、ぜひ、みなさん注目してください！

八代家住宅サポーターズ
大募集



こども神楽奉納

昨年に引き続き、こども神楽教室の参加者達が、韮崎市小田川の柳原神社の秋祭りで神楽を奉納させていただきました。大人の神楽は例年、明野町上手の三嶋神社神楽保存会の皆さんが奉納しています。今年は、こども神楽教室から2組3人が代表して、奉納をさせていただきました。

まずは、「二人剣の舞」。小学6年生と中学1年生の男の子が勇壮に舞います。発表会や明野町内の神社での奉納など、今まで何度も人前で舞ってきたことによって、息もぴったり、自信を持って舞えるようになってきました。

続いては、「猿田彦命の舞」。こども神楽6年目、高校1年生の男の子が堂々と舞いました。神楽殿を見上げるお客さんも多く、猿田彦命の天狗のお面に泣き出してしまう小さな子も。それだけ、迫力のある舞を披露することができました。

明野町でこども達がお神楽を習っていることが、だんだんと地区やその周辺に伝わり、奉納のお声がかかることをとても嬉しく思います。頑張っ、約半年をかけて練習するこども達の励みにもなります。今後も、ご理解・ご協力のほどをよろしく願いいたします。



猿田彦命の舞



二人剣の舞



猿田彦命の舞



玉取舞(三嶋神社)



鍛冶屋舞(三嶋神社)